

豊能町テレビ・プッシュ 令和3年度実証事業報告と令和4年度取り組みについて

■ 2022年6月10日

イッツ・コミュニケーションズ株式会社
事業戦略室 アライアンス営業部

会社名: イツツ・コミュニケーションズ株式会社
所在地: 東京都世田谷区用賀4丁目10番1
代表者: 代表取締役社長 嶋田 創
設立: 1983年3月2日
事業開始: 1987年10月2日
資本金: 52億9千4百万円
株主: 東急株式会社
従業員数: 672名(2021年4月1日時点)
主な事業: 有線テレビジョン放送事業
電気通信事業

当社の主な事業



テレビ



電話



インターネット



広告・サイネージ



MVNO



電力



街中Wi-Fi



EC



SaaS



都市開発事業



鉄軌道事業



国際事業



生活サービス事業



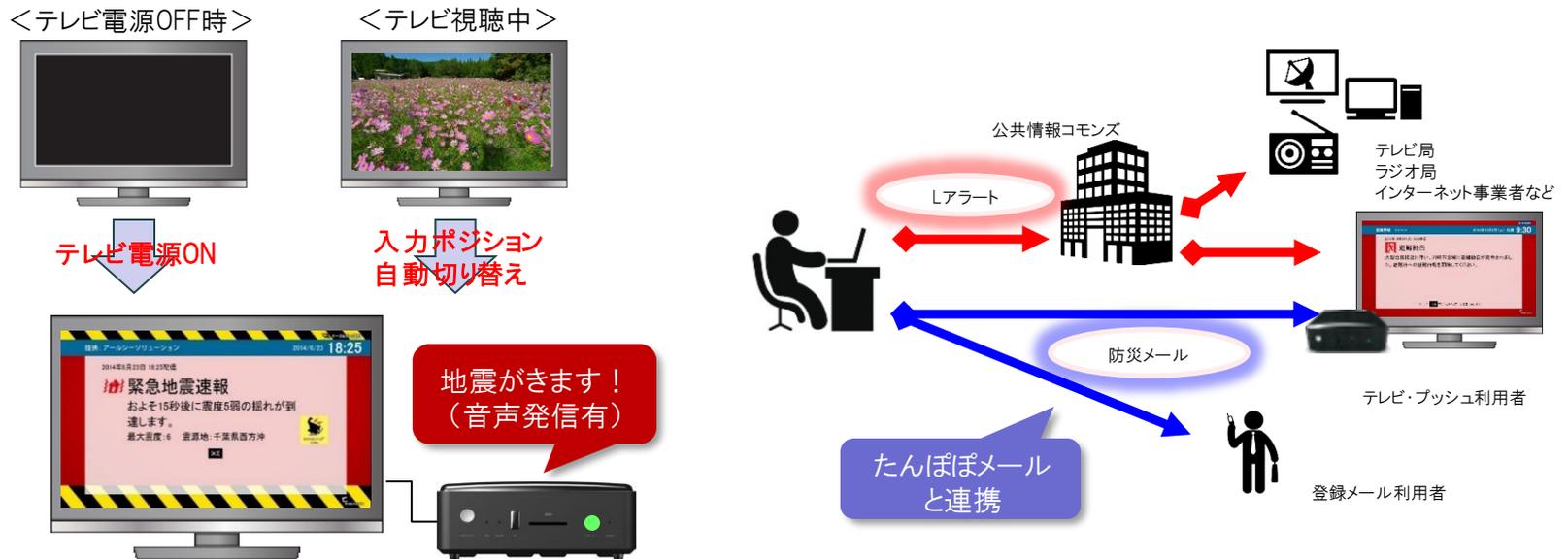
220社、8法人で構成される企業



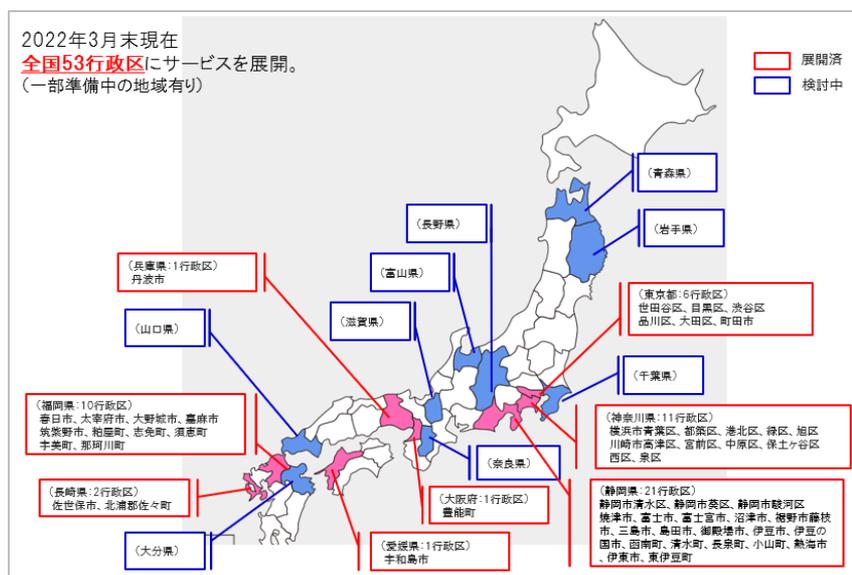
ホテル・リゾート事業

テレビ・プッシュとは

- 自治体が発報する緊急情報(避難情報など)やLアラート、Jアラート(国民保護情報)、緊急地震速報などをインターネット経由で**自宅のテレビに自動で告知するサービス**です。
- テレビの電源がOFFの場合は自動で立ち上げ**、地上波放送や録画番組などを視聴している場合は**強制的に画面を切り替え**テレビ画面に**文字**や**画像**で告知するのが特徴です。
- 専用端末には、**音声スピーカー**と**LEDランプ**を搭載しており、テレビ画面に加え**音声**と**光**でも情報を告知します。
- 高齢者も扱える簡単なリモコン操作性。(原則、上・下・決定ボタンのみ)
- 役所の**システム改修等が不要**、**運用の手間も不要**で情報配信が可能な情報伝達手段。



- 災害弱者とされる**高齢者、聴覚障害者などへの情報伝達力が高く**、総務省消防庁が発行する「災害情報伝達手段の整備等に関する手引き(令和3年度版)」に掲載される災害情報伝達手段の1種です。
- 本サービスは2022年3月末時点において、**全国約53行政区と連携**しております。



- 日本最大級の危機管理産業展「RISCON」開催の防災コンクールでは3回連続で最優秀賞を受賞。
(2017年:新製品開発部門、2018年:防災製品部門、2021年:先端技術・情報通信部門)





➤ 日頃使い慣れた自宅のテレビで、平時は生活情報を使い慣れ親しむことで、災害発生時に情報認知力を向上させます。

防災情報

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 緊急地震速報 ON | 気象警報 (特別警報、警報、注意報) ON |
| 震度情報 | 土砂災害警戒情報 |
| 避難情報 (避難準備、指示) ON | 竜巻注意情報 |
| 自治体からの緊急のお知らせ (とよのたんぼぼメール) | 記録的短時間大雨情報 ON |
| 国民保護情報 ON | |

生活情報

- | | | |
|---|--------------------|-------------------|
| 雨雲接近情報 | PM2.5情報 | 熱中症予防情報 ON |
| 朝のお知らせ (ごみ収集日、花粉情報、傘指数、何の日など) ON | 防犯情報 (大阪府警察安まちメール) | |
| 自治体からのお知らせ (とよのたんぼぼメール) | 写真の到着 | |

ON 電源連動・自動切換

ON 特別警報レベル・危険レベル時
電源連動・自動切換



雨雲接近情報

降雨アラーム



防犯情報

PM2.5



自治体からのお知らせ

熱中症



防犯情報



今日は何の日



河川カメラ



週間天気



雨雲レーダー



■ 豊能町テレビ・プッシュ実証事業内容（TVP端末30台）

- 実施期間 2022年2月1日～3月11日（継続利用中）
- 対象モニター
 - 一般宅 15件（アンケート対象）
 - 民間施設 2件
 - 町関連施設 8件
 - 予備端末 5台

● 期間中配信情報

情報種別	配信回数
気象警報注意報	17回
降雨アラーム	24回
防犯情報（大阪府警察安まちメール）	26回
とよのたんぽぽメール	8回



国民健康保険診療所設置写真

雨期から台風シーズンにかけては気象情報や避難情報、熱中症予防情報等が数多く配信されます。

■ 防災避難訓練実施

- 2022年2月19日（土） 10時～12時
- 町民24名参加
- 内容：テレビ・プッシュによる避難情報配信
→災害時ナビ（アプリ）「三井住友海上」にて避難



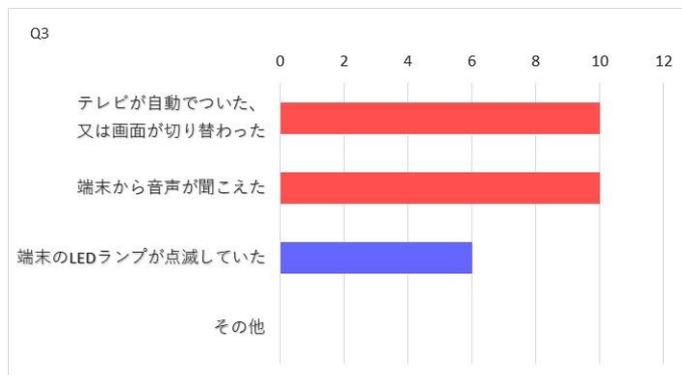
当日の様子

■Q1.豊能町「テレビ・プッシュ」の利用頻度を教えてください。



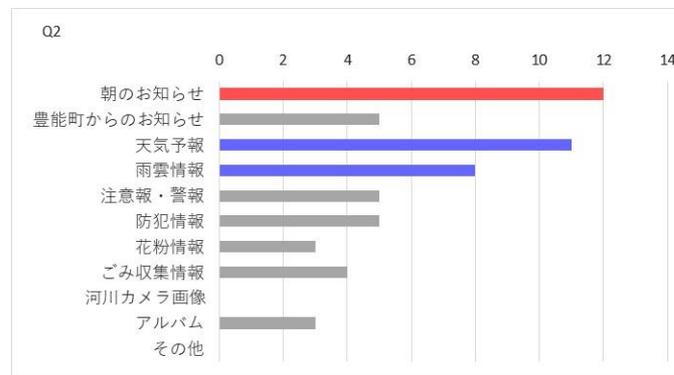
- モニターの67%は日常的に利用しており、生活に浸透しているといえる。
- テレビ画面を見ていないモニターもいたが、音声による情報認知はされていた。

■Q3.何がきっかけでお知らせに気づきましたか？(複数回答可)



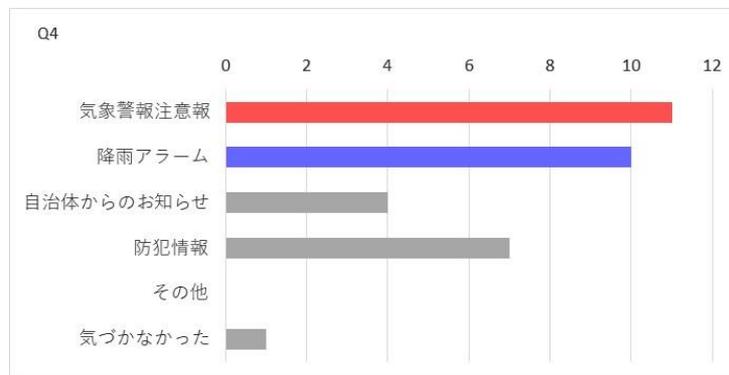
- 実証期間中に電源連動する緊急情報配信は無かった。
- 「テレビが自動でついた」は、朝のお知らせ(電源連動)による効果結果である。
- 電源連動しない生活情報は、音声、LEDランプ点滅で気づいたモニターが多かった。

■Q2.豊能町「テレビ・プッシュ」の利用頻度を教えてください。(複数回答可)



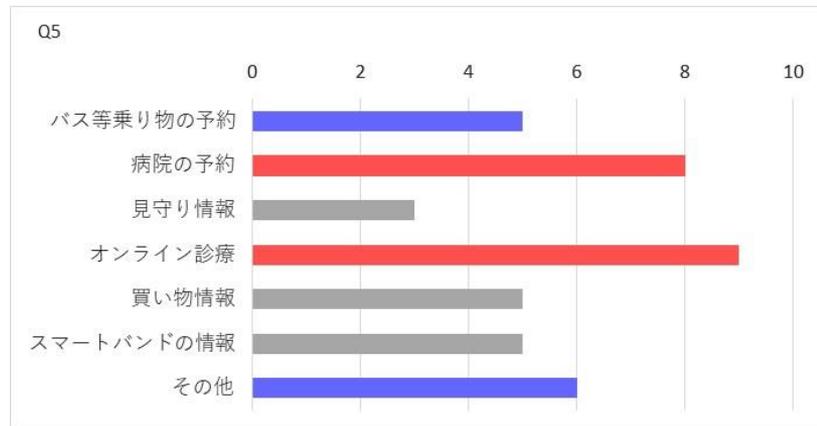
- 全モニターに朝のお知らせを設定した結果、毎朝テレビ・プッシュ確認が習慣化した。(一部電源未対応テレビあり)
- 天気予報、雨雲情報等気象に関する情報に関心が高い。

■Q4.音声で気づいた情報は、どの情報ですか。(複数回答可)



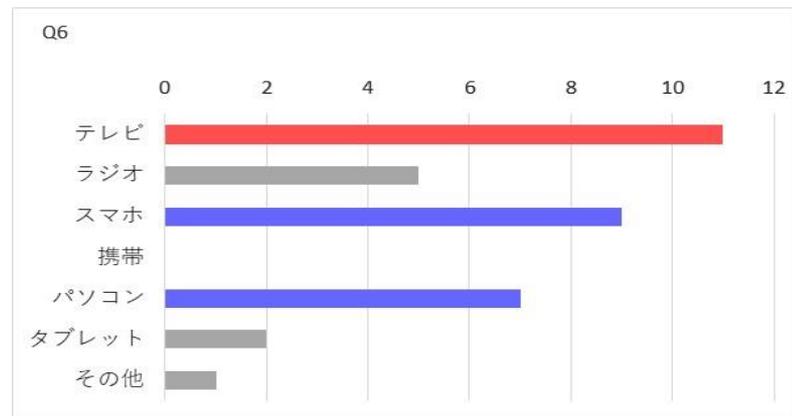
- 期間中に気象情報17回、降雨アラーム24回、防犯情報26回配信したが、気象情報、降雨アラームを聞いた人が多かったのは、気象に対する関心が高い結果と思われる。

■Q5. 今後テレビ・プッシュで利用したいと思う情報等がありますか。（複数回答可）



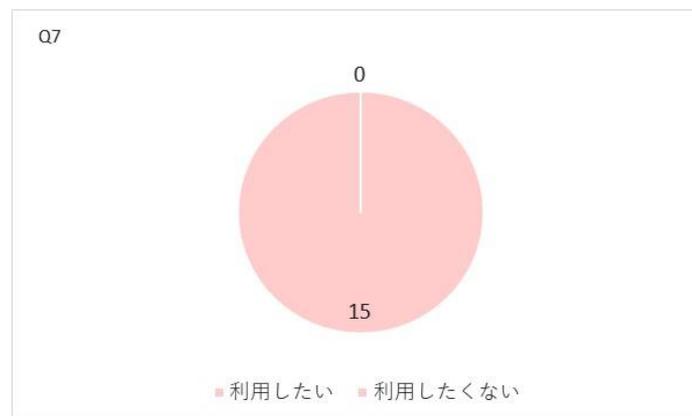
- 病院予約・オンライン診療など医療系に関するニーズが高い。
- 次に、バス等乗り物の予約、買い物情報スマートバンドの情報（ヘルスケア）連携の順にニーズが高い。
- その他は「自分の予定、町内会のイベント情報、ワクチン接種情報」など。

■Q6. 普段、何で情報を確認することが多いですか。（複数回答可）



- 高齢者世帯が多いためか、**テレビ**で情報を確認する人が大半。
- **スマホ**や**パソコン**も情報確認ツールとして使いこなしている人が多い。
- その他は、新聞。

■Q7. 今後も継続して利用したいと思いますか。



- **モニター全員が継続利用を希望**しており、テレビ・プッシュへ一定の評価が得られたと感じる。
- 今後の機能追加やサービス拡張への期待のコメントも多かった。
- コメント欄には数多くの期待の声が寄せられた。

Q8 豊能町テレビ・プッシュでお気づきの点や改善点があればご意見願います。

● 評価

- LEDの点灯は、その時間帯にいなかった人に、特に有効と感じている。
- 端末音声は非常に聞き取りやすく、大音量にしなくても十分に聞き取れた。よって、雨雲接近状況等については端末音声のみで事足りて、画面の確認が不要なほどであった。
- どの情報も、アラーム音の選定が、驚かない程度かつ情報の内容を想起させるもので、非常に良かった。
- 実際利用してみて日頃、テレビを見ている時間が多い方には身近で馴染みやすい機器だと思いました。スマホなどの画面が小さくて見にくい、使いにくいと感じられる方にも大きく表示されるためとても分かりやすいと思います。
- プッシュ型のため情報を取りにいかなくても日頃利用しているテレビから情報を得ることが出来るため情報収集ツールとして高く評価します。
- アルバムは自分で撮った写真を入れてみたが、外部から送信してもらいテレビ画面ですぐに見れるのは、高齢者には楽しいサービス。

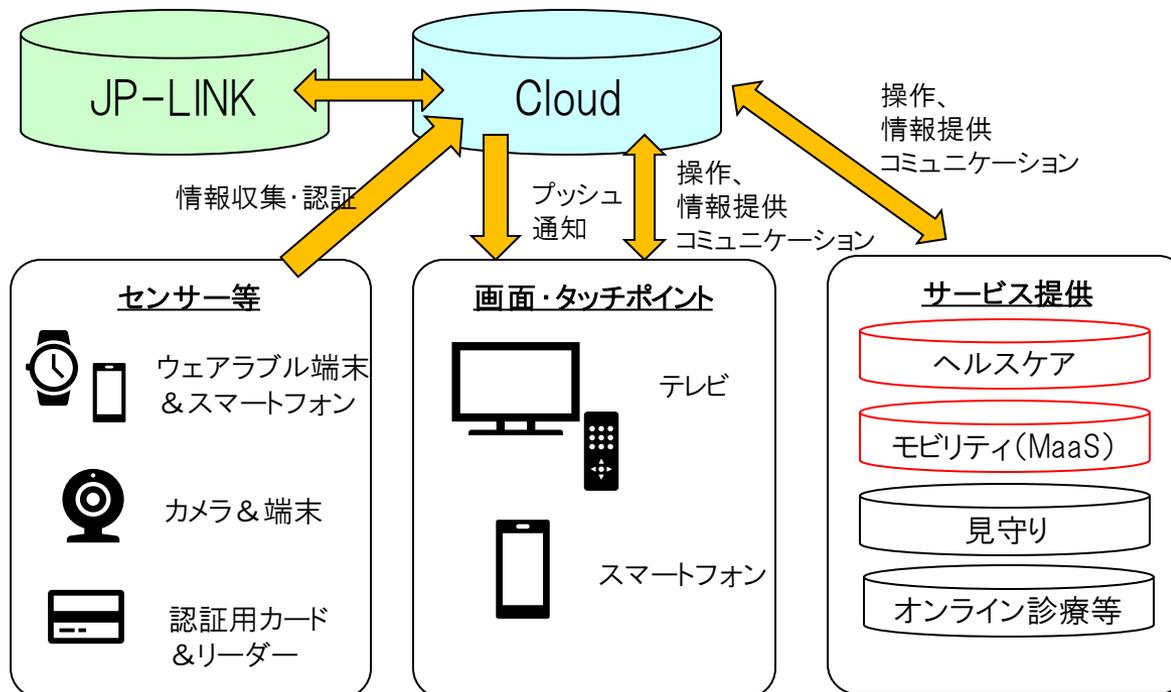
● 機能強化、機能改善、サービス連携

- 自分や家族の記念日や予定を入れて当日や前日に教えてくれたら便利だと思いました。
- 帰宅するのが遅いので、1日の天気予報を夜中まで確認できたほうが便利です。
- テレビが付く時刻を細かく設定してもらいましたが、使ってみるとあと5分変更したかったです。5分単位で自分で変更できるようになると嬉しいです。
- 町内の各団体が行うイベント情報等をお知らせしては？町の活性化につながるのでは？
- アルバムは自分じゃない誰かが写真をいれてくれると更に見るのが楽しいと思います。ご家族が遠方にいらっしゃる方や独居の方には嬉しいメッセージになると思います。
- アルバムに「東ときわ台の桜並木が満開ですよ！」「妙見山が真っ白にゆきげしょうしましたよ！」とか、家から見えない町の景色を豊能公式さんから配信なんていうのもありかなと思って使っていた。
- 様々な情報の取得に合わせ健康管理やオンライン診療等に繋がることでヘルスケアの充実につながることを期待します。

iTSCOMが考える「スマートシティ」の重要ポイントは・・・

だれ一人取り残さないデジタル社会を実現する、 人間中心のスマートシティ

デジタルを活用して、防災、ヘルスケア、モビリティ、買物支援、自己啓発などの価値を提供するためには、スマートフォン(アプリ、WEB)のみならず、家庭のテレビ、電話(テレビ電話含む)、街頭のデジタル掲示板など、「**タッチポイントの多重化**」がキーとなる。



MaaS: スマホ操作が不慣れな高齢者に「TVでかんたん予約」

＜これまでのデマンドバスの予約＞

使い方が分からない

ちゃんと予約されたか心配

使い方を忘れた

スマホ予約のみ



＜これからのデマンドバスの予約＞

スマホに加えて
使い慣れたTVで予約

簡単なリモコン操作で
分かり易い



音声アナウンス付き



リモコンワンタッチで
予約画面に遷移

音声ガイダンスに従い操作
(リモコン操作は「上下決定」のみ)

バス到着10分前に
プッシュ通知



ヘルスケア： 各種デバイスの情報を基に「行動指針を自動お知らせ」



ウェアラブル端末

異常値を検知

本人に通知

健康管理にご注意！

●●さん
直近3日間の歩数が少ないです。
日中に散歩等を行いましょう。



照度センサー

周辺照度と室内照度の
差異を検知

本人に通知

室内暗くなっていませんか？

●●さん
室内が暗いので照明を付けましよう



室温センサー

室内温度の
異変を検知

本人に通知

熱中症に注意！

●●さん
室内の温度が高まっています。
エアコンをつけましよう。



開閉センサー

扉開閉状況を検知

家族に通知

<本日の開閉通知>

●●さん
本日、お父様のご自宅の開閉は●
回でした。

